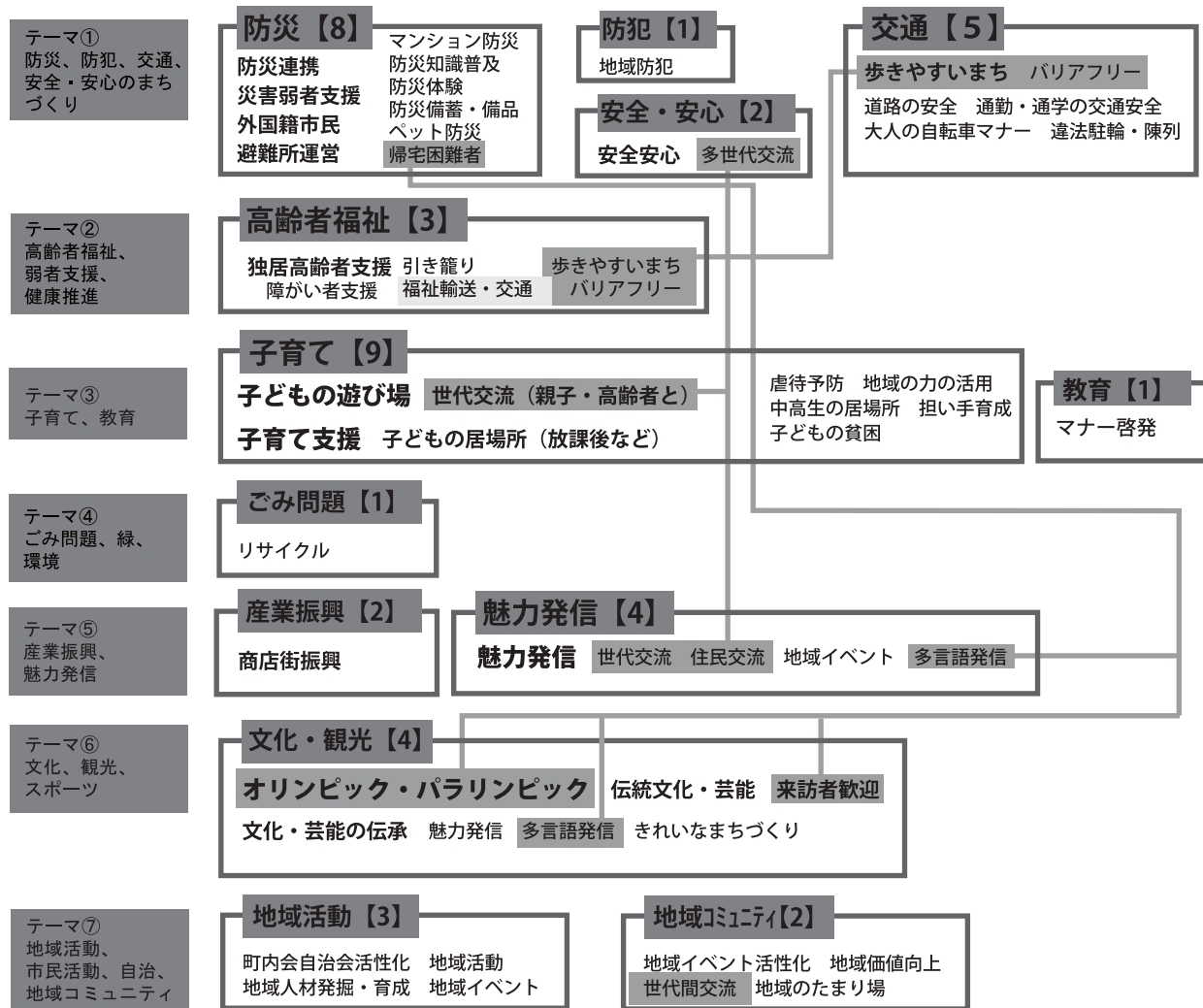


Ⅲ 審議テーマが決まるまで

1. 地域課題の抽出と検討

第1回区民会議（平成28年8月4日）で、第1～5期の区民会議の審議テーマと提案、取組結果等を確認した後、「審議テーマシート」に基づき、委員が日頃感じている中原区
の地域課題の抽出・整理を行いました。

【委員提案による地域課題の分野別整理】 ※数字は審議テーマシートに記入された意見数



意見数が多かったのが子育て、防災の分野で、人口増や区民の多様化を踏まえた取組が必要との意見でした。その他、交通、高齢者福祉、魅力発信や地域コミュニティに関する意見も出ました。過去の区民会議ではあまり取り組んだことのない分野として、文化・観光の分野や、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組が今こそ必要との意見も出ました。

2. 各委員の主な意見

防災：防災連携、避難所運営、外国籍市民、防災知識普及、災害発生時の弱者支援…

交通：誰もが歩きやすいまち（バリアフリー、サイン改善・多言語化、環境改善）…

防犯、安全・安心：防犯セミナー、多世代・多様な区民の相互理解…

高齢者福祉：ひきこもり対策、独居高齢者（特に男性）への交流・支援の促進…

子育て：異世代交流、居場所・遊び場、中高生の相談場所、貧困支援、地域関係強化…

教育：幼少期からのマナー意識づけ、総合的な教育…

ごみ問題：地域で取り組むリサイクル…

産業振興：商店街活性化・再生、後継者不足…

魅力発信：区内の活動やレジャーの発信、地域イベントを誰もが参加しやすい形に…

文化・観光：オリンピック・パラリンピックに向けた取組、地域伝統文化のPR・継承…

地域活動：町内会加入促進、地域人材の発掘・活用、既存イベントの連携・効率化…

地域コミュニティ：地域価値向上、住民の世代間交流、地域のたまり「場」づくり…

3. 審議テーマの決定

第1回運営部会（平成28年8月24日）で、それまでの委員の意見の数や内容、区の特徴や現状を踏まえ「今、取り組むべき課題」を検討し、テーマ候補を絞り込みました。

テーマ候補1：防災…熊本地震などによる防災意識の高まりを契機に大震災に備える。

特に多様化する区民に、今、必要な防災として、相互理解からの弱者支援、助け合いを主眼にとりあげる。

テーマ候補2：オリンピック・パラリンピック…2020年東京開催に向け、来訪者への魅力発信・歓迎のまちづくりを進める。（一方で「区民を優先したい」「招致の効果・活かし方などがまだ見えにくい」などの反対意見もあった）

共通テーマ：「ユニバーサルなまちづくり」…誰もが安全・安心に移動ができ、バリアフリーで分かり易いサインのある「ユニバーサルなまち」は、「災害時の避難・救助」や「来訪者の案内・歓迎」がしやすいまちだと考えました。

以上の検討結果から、運営部会では、第6期中原区区民会議の審議テーマの案を、

「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」とし、

第2回区民会議（平成28年10月11日）で、出席全委員の賛同を得て、審議テーマが決定されました。

Ⅳ 地域課題の解決に向けた

第6期中原区区民会議の提案

1. 地域課題の解決に向けた取組提案

任期前期（平成28年6月～平成29年6月）の活動として、課題調査部会を中心に、以下の6つの観点を検討しながら、審議テーマに係る地域課題の解決に向けた取組提案の検討を進めました。

【取組提案検討のポイント（6つの観点）】

区の特徴や現状…中原区ゆえ・らしさ	実現性…担い手・費用・手段等の目途
区民会議取組として…意義や妥当性、効果	話題性…時勢・ニュース性
緊急性・優先性…切迫度、深刻度	共感性…やってみよう・やってみたい

第2回課題調査部会と第4回課題調査部会の後には、運営部会、区民会議（全体会）でその審議経過を報告し、委員全体で意見交換、参与のコメント等もいただきながら検討を進めました。その結果、まとまったのが以下の提案です。

提案Ⅰ－①：体験型防災プログラムの実施推進 ▶ 9ページ

提案Ⅰ－②：避難所運営ゲーム（HUG）等の実施推進 ▶ 10ページ

提案Ⅱ：中原総合防災マップづくり ▶ 12ページ

提案Ⅲ：防災情報の発信 ▶ 14ページ

提案Ⅳ：市民救命士の育成 ▶ 16ページ

提案Ⅴ：震災体験の講話・講演 ▶ 17ページ

提案Ⅵ：安否確認・避難所運営に資する資料の製作と活用 ▶ 18ページ

提案Ⅶ：街中案内・マップの充実 ▶ 19ページ

提案Ⅰ－① 体験型防災プログラムの実施推進

解決したい地域課題

- 無関心層・未経験層の存在
- 避難所開設・運営体制の充実

課題解決の方向性

- 『互近所』関係づくり
- 災害前からの備え・対策
- 避難所開設・運営訓練の充実・強化

提案内容

(1) 体験型防災プログラムの導入（対象例）

- ① 親子サッカードリーム教室
 - ・ 等々力陸上競技場で開催
- ② 中原区 警察・消防・区役所ぐるぐるツアー
 - ・ 平成 28 年 8 月初開催 「まちの安全」を学ぶ
- ③ 中原区総合防災訓練
 - ・ 平成 29 年度に 2 回開催
- ④ 学校で「防災教室」の開催
 - ・ 授業内開催（例：交通安全教室）／既存避難訓練に導入など



親子サッカードリーム教室

(2) 導入プログラムの案 ※個別の場合や条件に合わせて検討・実施

- ・ スタンプラリー形式…複数プログラムを回る楽しさを演出
- ・ ゲーム形式…楽しい・良い思い出として残るよう工夫
- ・ ワークショップ形式…能動的に学ぶ・考える工夫、参加者同士で交流する
- ・ 内容例…車椅子、煙中避難、土嚢積み、トイレ組立、避難所開設・運営、暗闇体験、非常食調理、避難所宿泊、掲示物デザイン、多言語など
- ・ 展示…防災車両、非常食、防災備品など

今後の検討課題

- ① 「きっかけづくり」から「担い手・体制づくり」への道筋
- ② 既存の活動に参加していない高齢者や無関心層などの引き込み

担い手（取組の主体と役割等）

- 区民…主体：自主防災組織、避難所運営会議、青少年育成団体、町内会・自治会など
 役割：主として地域主体の体験型防災プログラム等の企画、会場、募集
- 行政…役割：主として区全体を対象とした体験型防災プログラムの運営等
 区民主体のプログラムの指導、企画や広報の支援など

参考事例・情報

市内各区の総合防災訓練、多世代参加の防災フェア・イベントなど

提案Ⅰ－② 避難所運営ゲーム（HUG）等の実施推進

解決したい地域課題

- 避難所開設・運営体制の充実

課題解決の方向性

- 担い手の育成
- 「互近助」関係づくりの推進

提案内容

「避難所運営ゲーム（HUG）」の体験推進

災害発生時の避難所における施設利用、機能配置を題材に、避難所が直面する課題を模擬体験するゲームの体験推進

- ・ 自主防災組織や町内会・自治会単位での体験・実施を支援
- ・ こども用アレンジして学校等での実施（提案Ⅰ－①の中での検討など）
- ・ 地域単位で経験者、運営の担い手を育て、地域が自主的に展開できる体制を目指す（行政のみの指導運営では企画拡大、指導体制に限界がある）

※「避難所運営ゲーム（HUG）」の前段階等として、「クロスロード」（被災時に体験する正解の無いジレンマを題材に、合意形成や非常時対応の難しさを模擬体験するゲーム）の実施推進等も検討



今後の検討課題

ゲーム実施推進の方法、対象、実施主体など

担い手（取組の主体と役割等）

区民…主体：自主防災組織、避難所運営会議、青少年育成団体、町内会・自治会など

役割：実施機会の企画、会場、募集等→地域の担い手・指導者の育成

行政…役割：ゲームツールの貸し出し・初回の指導など

参考事例・情報

■ 中原消防署による災害図上訓練（DIG）の実施

DIG=Disaster Imagination Game

白地図上で災害を想定しながら、防災情報を掘り起し、整理していく手法。中原消防署では中学校等を対象に毎年実施している。

提案Ⅱ 中原総合防災マップづくり

解決したい地域課題

- 無関心層・未経験層の存在
- 情報弱者の存在

課題解決の方向性

- 広報・情報共有の強化・充実

提案内容

中原総合防災マップ編集の考え方・目的→具体的な掲載方法・内容案

① 居住地域、周囲の情報を知る

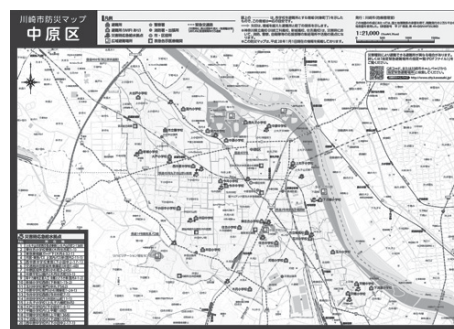
- 「身近な地域レベルの地図」を掲載
- 書き込み可能な地図や欄を掲載

② 既存のマップ・資料を一括化

- 特に必要な情報を抽出
- 色分け等でわかりやすく提示

③ 地域や家庭でカスタマイズ・活用できるマップ

- 付箋や書き込み可能なシールなど導入
- 「無事ですカード」(提案Ⅵ)



中原区防災マップ

④ 「日常からの備え」「災害発生時の対応・行動」のガイドとなるマップ

- 帰宅支援マップや避難生活に役立つコラム等
- 災害への備え、災害発生時の行動に資する情報の厳選と掲載

⑤ 誰にでもわかりやすく、使いやすいマップ

- イラストなどで視覚的にアピール、文字は大きく、少なく
- 読みやすい文章、「やさしい日本語」による表記、多言語表記等の導入
- 索引機能の導入…困り事や知りたい情報からの検索

今後の検討課題

- ① **サイズ・形式**…地図重視(A4版)、持ち出し重視(ハンドブック版)などの意見
- ② **別冊**…無事ですカード、付箋やシールなどの別冊としての製作など

担い手(取組の主体と役割等)

- 区民…主体: 自主防災組織、避難所運営会議、町内会・自治会、市民活動団体・個人
- 役割: マップの活用など
- 行政…役割: マップの企画・編集・発行・配布など

参考事例・情報

- 「防災ブック 東京防災」、「合志市総合防災マップ」(熊本県合志市)、
- 「福岡県子どものための防災MAP」(福岡県) など

提案Ⅲ 防災情報の発信

解決したい地域課題

- 無関心層・未経験層の存在
- 情報弱者の存在

課題解決の方向性

- 『互近所』関係づくり
- 災害前からの備え・対策

提案内容

(1) 啓発短編動画の製作（数十秒～数分の防災啓発動画）

案①「在宅避難」の勧め

避難所の環境・機能・備蓄等の限界について
在宅避難を可能にする家庭備蓄、防災レシピ など

案②地域での防災訓練の開催情報

地域単位の防災訓練・イベント等での開催
見学や参加の方法、地域での企画の方法等、アクションにつながる情報提供

(2) 啓発短編動画の配信・放映（多くの区民の目に触れる場所）

①区役所区民課窓口待合スペースモニター

第5期区民会議の交通安全に関する提案で、
短編動画の配信実績がある

②小杉ビジョン

武蔵小杉駅南口「KOSUGI PLAZA」の屋外
モニター
市の広報等で活用実績がある

③オズ通り商店街 デジタルサイネージ

(3) 商店街等でのマップの掲出



区民課窓口モニターで交通安全啓発動画



小杉ビジョンでゴミ収集方法変更を広報

今後の検討課題

伝える・伝わる工夫…防災に関するクイズ形式など、興味を惹く工夫

担い手（取組の主体と役割等）

行政…役割：啓発動画の企画・撮影編集・配信など

提案Ⅳ 市民救命士の育成

解決したい地域課題

■ 避難所開設・運営体制の充実

課題解決の方向性

■ 担い手の発掘・育成

提案内容

市民救命士の育成

市が認定、育成している「市民救命士」の区内での育成・普及の強化

特に中高生や外国籍市民など新たな担い手の発掘に努める

※市民救命士：心肺蘇生法、止血法など応急手当の実技を身につけた市民を養成する講座を開講。

※市全体で 14,290 人以上／年の養成が目標とされている。

※特に年齢制限はなし。内容的には中学生以上で取得可能。

※上級資格として、市民救命士の育成に携わる「応急手当普及員」も認定。



市民救命士 講習修了証

今後の検討課題

育成・推進の方法…研修・講座等の開催方法、ターゲットなど

担い手（取組の主体と役割等）

区民…主体：自主防災組織、避難所運営会議、町内会・自治会、市民活動団体・個人

役割：実施機会の企画、会場、募集、受講など

行政…役割：講師の紹介・仲介など

参考事例・情報

危機管理士

特定非営利活動法人 日本危機管理士機構が認定する資格で座学や演習を開講。

2 級（2 種）…自然災害（地震、風水害、火山爆発など）

社会リスク（大規模事故・企業不祥事、パンデミックなど）

1 級…自然災害と社会リスクの両方に対応できる人材

※年 1 万円以上の会費、同法人による講座の定期的な受講が必要。

提案Ⅴ 震災体験の講話・講演

解決したい地域課題

■ 無知層・未経験層の存在

課題解決の方向性

■ 広報・情報共有の強化・充実

提案内容

震災体験者による講演・講話の機会の推進

① 地域の防災訓練や会合の場で開催する

地域の防災訓練／地域団体会合／市民活動団体会合／地域イベントなど…

② 内容を記録し、公開する

冊子化／区のHP等、ネット上で公開

今後の検討課題

① 講演者の確保、内容の調整

…委員のつて／講師／市役所職員（被災地支援経験者）など

…依頼ルート／有償／無償、講話の効果を高めるための資料や演出など…

② 講演・講話の場や広報など

担い手（取組の主体と役割等）

区民…主体：自主防災組織、避難所運営会議、町内会・自治会、市民活動団体・個人

役割：実施機会の企画、会場、募集、受講等

行政…講師の紹介・仲介など

参考事例・情報

（１）山村武彦氏（防災システム研究所）の講演

「避難所環境は劣悪な場合があり、在宅避難できるのであれば、その方が良い」「互近助」が重要

（２）熊本地震 派遣職員体験談

市内各区で、熊本地震の被災地支援として現地へ派遣された市の職員が体験談を話している。

（３）熊本市長の講演

平成29年1月23日「川崎市防災シンポジウム」で熊本市長が講演



市内の防災訓練で体験談を話す職員

提案VI 安否確認・避難所運営に資する資料の製作と活用

解決したい地域課題

- 避難所開設・運営体制の充実

課題解決の方向性

- 避難所開設・運営訓練の充実・強化
- 避難所機能強化

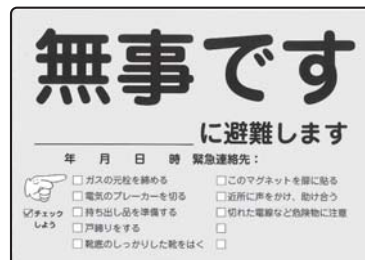
提案内容

(1) 「無事ですカード」の製作

災害発生後の速やかな安否確認等を目的に、救助・救援を特に必要としない家庭が玄関前等に「無事です」「〇〇に避難中」など掲示するカード・緑色など無事をイメージし、建築物判定等の掲示と紛らわしくない色とする。

・「自宅に居て無事」も掲示できるものとする。

・シール形式、吊り下げ用の穴、防災資料への盛り込みなど検討する。



無事ですカードの例

(2) 避難所運営に資する資料の導入及びその多言語化

避難所運営に関する掲示、避難者登録カードなどの事前製作と多言語化
避難所への配置 など

今後の検討課題

作成資料の内容、製作・活用方法等

※実際の災害時の混乱や困難性。プライバシー等への考慮も必要

担い手（取組の主体と役割等）

区民…主体：自主防災組織、避難所運営会議、町内会・自治会、市民活動団体・個人

役割：資料の活用

行政…役割：資料の企画・作成・配布など

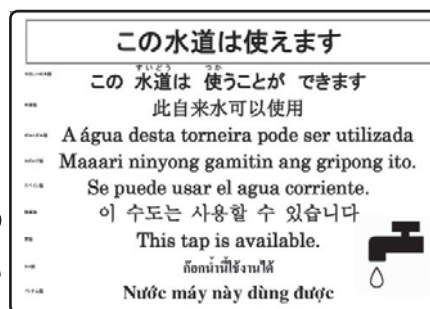
参考事例・情報

(1) 無事ですカード（高津区ほか）

(2) 避難所運営に資する資料の作成・準備

（横浜市他）

避難所内の掲示や避難者登録カードなどの多言語版（ピクトグラムやイラスト等も用いた物）を製作し、避難所単位で用意



避難所掲示（多言語）の例

提案Ⅶ 街中案内・マップの充実

解決したい地域課題

- 分かりやすい案内
- バリアフリー

課題解決の方向性

- サイン整備

提案内容

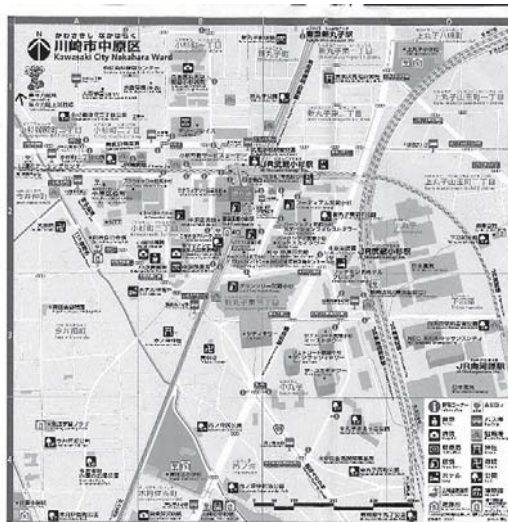
(1) 提案Ⅱのマップの有効活用

商店街・コンビニエンスストア等への当該地域の地図の掲出など

(2) 駅周辺等の街頭案内地図の更新

※数年毎の貼り換え、情報の更新の際に実施する。

- ・ 想定浸水深、避難所エリア、公衆トイレなどの情報の追加・整理
- ・ QRコードの活用によるネット上の詳しい防災情報へのアクセス誘導
- ・ その他、地域単位の情報掲載



武蔵小杉駅周辺の現在の街頭案内地図

今後の検討課題

① 掲載情報の取捨選択

掲載情報が多すぎると、かえってわかりにくく、使いにくくなる

② 地図上での表現方法

色分け・アイコン等、より分かりやすい方法の検討

担い手（取組の主体と役割等）

行政…役割：マップの更新・設置

参考事例・情報

(1) 川崎区 海拔表示板

(川崎区区民会議の提案を受けて実施)

町内会掲示板を中心に設置地点の「海拔」と最新の津波被害想定による「浸水深」を3か国語で表示したアクリルプレートを設置。

(2) 避難所表示、海拔表示等の設置

多くの自治体で事例。ステッカー形式、電柱・郵便ポスト等への設置例もある。



電柱上表示の例

2. その他の参考事例

提案に先立って把握した中原区の実践事例

■ 中原区の既存の防災に関する取組

中原区内の避難所（28 か所）の指定

避難所運営会議の組織、避難所運営訓練の開催、避難所運営マニュアルの作成

自主防災組織（108 団体）…各避難所の運営会議の担い手としても活躍

帰宅困難者対策 「武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画」の策定

鉄道・民間事業者と連携・協力。一時滞在施設や帰宅支援ステーションの設置 など

災害情報の提供・発信

各種紙媒体、防災アプリ、メールニュースかわさき、防災無線、街中掲示・表示 など

特色ある防災訓練

中原電車区（車両基地）防災訓練、等々力陸上競技場テロ対策訓練、多摩川水防訓練、

中原消防署による災害図上訓練（DIG）の実施 など

モトスミ・オズ通り商店街振興組合の取組

3. 区民会議報告会の開催

第 6 期中原区区民会議の総括、活動成果のより多くの区民への広報の場として、区民会議報告会を開催します。第 5 期までは、市民館のホール等で区民会議報告と審議テーマに絡めた区民の発表やイベントと併せて開催していましたが、第 6 期では、屋外でより多くの、区民の目に留まる企画として次のとおり、区民会議報告会を企画しました。

タイトル：区民会議成果祭 ～災害に強い、ユニバーサルなまちに！～

日 時：平成 30 年 5 月 26 日（土）11 時～14 時

場 所：こすぎコアパーク（武蔵小杉駅南口駅前広場）

ね ら い：人通りの多い場所で幅広い年齢層の区民に区民会議の成果をアピールする

実施概要：①区民会議の成果をまとめた広報物の作成・配布

②防災に関する体験ブースや展示ブースの開設

③防災クイズラリーの開催（体験・展示ブースを回る）